



オンライン語り部LIVE 2022

語り部LIVEの様子はこちら!



参加費
無料

東日本大震災から11年を迎える中、当時を知らない子どもたち、幼かった子どもたちも小学生・中学生・高校生と成長しています。日本赤十字社宮城県支部は、JRC加盟校のメンバーに被災地の想いを繋ぎ、災害発生時には自分のいのちをしっかりと守ることができるよう公益社団法人3.11メモリアルネットワークと協働して、**12名の語り部さんの生の声をZOOMで配信します。**



子どもたちが災害を**自分事**として考えられる!

全国のJRC加盟
小学校~高校と**一緒に
視聴できる!**

感想用紙で「**自分の言葉にする**」
振り返りができる!



JRC語り部LIVEを取り入れた防災教育例



(徳島県阿南市立橋小学校)
お話のポイントを先生が板書し、子どもたちの感想を模造紙にまとめたり、まち歩きで安全・危険な場所をチェックをしたりしました。トンガ噴火に伴う津波警報が出た際には、子どもたちが保護者とともに高台に避難するという行動にも繋がりました。



(熊本県山都町立蘇陽中学校)
生徒たちは当時幼く、過去の災害を知らないことも多いが、できること、やるべきことを考えるきっかけとして参加。保護者への情報発信や、防災・熊本地震・阪神淡路大震災についての学習、町役場職員からお話を聞くなどの事後学習で、生徒たちの理解を深めました。



(山口県徳山商工高等学校)
高校のJRC部で視聴後、自校でも他の語り部さんのお話を聞く機会を作りました。その後、防災活動としてBousai Cafeを始め、防災カードゲームや他校との交流会、震災伝承団体とのイベント、避難所機材の展示などを企画しています。



青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのちひろめるぼうさい」もぜひ活用ください!



東北大学災害科学国際研究所

佐藤翔輔 准教授も語り部LIVEを推薦!

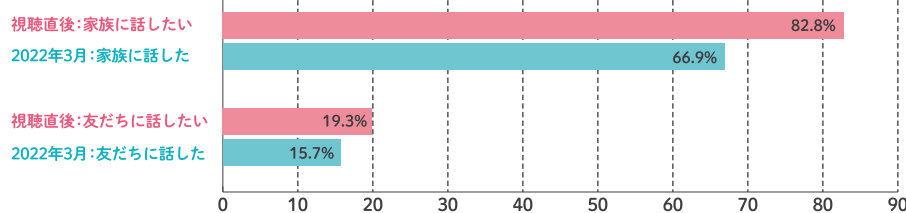
防災教育のコツは「災害を我がこととして考えてもらう」にあります。その効果的な方法のひとつが、語り部さんから体験を聴くことで、災害を「追体験」「疑似体験」することです。ぜひ、ご参加いただき災害を乗り越える力を身につけましょう。

※参加する子どもたちへのアンケート調査の設計・分析で日赤と連携しています。



昨年度の調査結果

語り部LIVEを視聴して子どもたちにこんな**行動変容**が! n=1,088

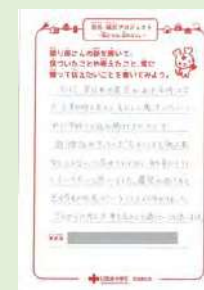


語り部さんのお話を聞いた直後に「誰かに話したい」と思っていた子どもたちの多くが実際に語り部さんから聞いたお話を家族や友だちに伝えています



子どもたちの感想

- 震災があったのは2才のときでぜんぜん覚えていないけれどお話が聞けてよかったです。(小学生)
- 「いつか災害が起きる」ではなく、「今災害が起きたら」が大切だなと思いました。(中学生)
- 「自分は大丈夫。」などと油断することが危険だと知りました。(高校生)



先生方のご感想

- 自分たちに語りかけてもらっていると子どもたちは集中して聞いていました。(小学校の先生)
- 東北修学旅行の事後学習として訪れた場所の理解が深まりました。(中学校の先生)
- 日常のホームルームや家庭でもこの話をもとに考えてくれました。(高校の先生)

参加校・参加者数※

令和2年度…全国103校 10,951名
令和3年度…全国58校 4,221名

語り部さんのお話を多くの子どもたちに聞いてもらい、子どもたちが学校、家庭、地域で語り手となり、いのちを守ることを期待しています!



※年度により、時間・参加条件が異なるため、参加校・参加者数も異なります。



3点セット プレゼント



参加する子どもたちの人数分、3点セットをもれなくプレゼントいたします!
(配信地域のマップ、アクションカード、参加記念品)

みんな違うから大切にしたい いのちを守る防災 ～ムリ・ムダのない防災～

伝えるポイント!
・東日本大震災の何が起っていたのか
・ムリとムダのない防災
2月8日(水) 13:30～14:00 小学校5,6年生
2月13日(月) 11:00～11:30 中学生



吉田千春 よしだちはるみ
気仙沼おとひめ会代表。1990年ごろから地域に引きこもり、不登校の子どもたちが増えたことにより、2004年から気仙沼市を中心にいのちを守る活動。自殺防止の活動、地域の美化活動、女性活動をスタート。東日本大震災後は、女性の手仕事支援、高齢化した地域の自治組織の中で防災減災の活動を展開。地区防災計画を作成し「ムリ・ムダのない防災」をめざして活動中。

津波と原発事故の 経験から未来へ

伝えるポイント!
・津波の被害と原子力災害
・発見までの5年9か月
1月17日(火) 11:00～11:30 小学校5,6年生
3月2日(木) 14:30～15:30 高校生



木村紀夫 きむらのりお
1965年、福島県大熊町生まれ。東日本大震災の津波で家族3人を亡くし、更に原発事故によって捜索が阻まれる。次女汐風(ゆうな)の遺骨発見までに5年9か月を要し、いまだその8割は見つかっていない。そんな経験から「防災」と「豊かさへの疑問」について考える伝承を続けている。大熊未染代表

あいりちゃんからの 命のメッセージ

伝えるポイント!
・母の悲しみ
・何気ない日常の大切さ
1月16日(月) 11:00～11:30 小学校3,4年生
1月16日(月) 13:30～14:00 小学校3,4年生

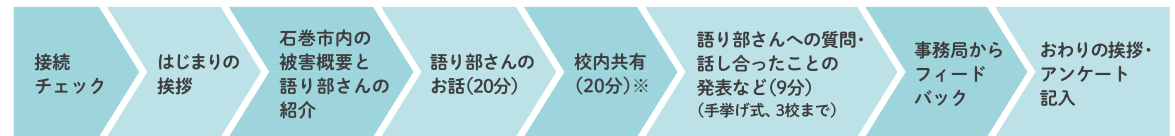


佐藤美香 さとうみか
2006年に転勤で石巻市へ引っ越し、震災の時は自宅で次女(3歳)と過ごしている時だった。長女(6歳)は高台(日和山)の私立幼稚園にいたため安心していましたが、その管理下で犠牲に。震災後は、「日和幼稚園遺族有志の会」を立ち上げ全国への発信を続けている。昨年からは紙芝居「あいりちゃんからの命のメッセージ」を使った伝承活動を開始。2017年に書籍「ふたりのせかいりょうこう」を出版

30分 授業で取り入れやすいコンパクトな内容



60分 みんなで一緒に気づき・考えを深め合おう!



※各校内での話し合い(20分)「自分たちの地域で災害が起きたらどうすればいいだろう?」

語り部LIVE日程

小学校3,4年生	小学校5,6年生	中学生	高校生
30分 11:00～11:30 1月16日(月) 佐藤美香 13:30～14:00 2月2日(木) 高橋正子 60分 11:00～12:00 2月21日(火) 菊池のどか 13:30～14:30 高橋正子	30分 11:00～11:30 1月17日(火) 木村紀夫 13:30～14:00 2月8日(水) 三浦七海 60分 11:00～12:00 2月24日(金) 阿部任 13:30～14:30 高橋匡美	30分 11:00～11:30 1月25日(水) 三浦浩 13:30～14:00 2月13日(月) 吉田千春 60分 11:00～12:00 3月7日(火) 武山ひかる 13:30～14:30 三浦浩	30分 14:30～15:00 1月27日(金) 田村孝行 16:00～16:30 2月15日(水) 高橋匡美 60分 14:30～15:30 3月2日(木) 木村紀夫 16:00～17:00 武山ひかる

「命ってなんだろう?」

伝えるポイント!
・震災3日後にたどり着いた故郷の状況
・「明日が来る」のは奇跡だということ
・今を大切に生きていくこと
2月24日(金) 13:30～14:30 小学校5,6年生
2月15日(水) 14:30～15:00 高校生



高橋匡美 たかはしきょうみ
震災で、生まれ故郷である石巻市南浜町一帯、実家、そしてそこで暮らしていた両親を亡くす。その心の傷から自宅に籠る日々が続いたが、2014年自分の経験や心の内を「メモリスピーチコンテスト」で語り、全国大会で銀賞を受賞。現在「命のかたりべ」として、「今」を生きる大切さを伝えていく。活動の様子はFacebook「命のかたりべ」にて報告。

小・中学生にできること、 やるべきこと

伝えるポイント!
・災害が起きる前にできる備え
・自分の命を守るためにできること
・防災教育を受ける側の視点から見た防災教育の重要性
2月21日(火) 11:00～12:00 小学校3,4年生
2月13日(月) 13:30～14:00 中学生



菊池のどか きくちのどか
釜石東中学校2年生の時に、防災担当の整美委員長となる。3年生の3月11日に東日本大震災が発生し、隣接する小学校の児童とともに避難する。その経験をもとに、2019年4月より、いのちをつなぐ未来館職員として語り部・ガイドを行う。2021年5月には誰でもわかる・取り組むことができる防災教育の推進を目指し、神戸出身の2人の仲間とともに株式会社skurasuを立ちあげ、現在はフリーランスとして活動中。

今、自分にできること

伝えるポイント!
・震災当時の状況
・地震の時に考えていたこと
・震災から現在までのこと
3月7日(火) 11:00～12:00 中学生
3月2日(木) 16:00～17:00 高校生



武山ひかる たけやまひかる
震災時は小学校4年生(現在大学4年)。地震後、家族と車で高台に避難したが、寒さのため自宅に戻ろうとしてしまい危険な状況に。自宅は全壊したため避難所から小学校に通った。震災後、多くの人が辛い思いをしたことを知り「事前に知識があれば」という思いと共に、あの子どもの気持ちも伝えている。2021年、震災関連の絵本「ひとりじゃない」を出版し、現在は電子書籍にて販売中。

今までの10年から 次の10年へ

伝えるポイント!
・みんなのために自分ができること
・自分の目で確かめてほしい震災の学び
・人をたいせつに。命をたいせつに
2月2日(木) 13:30～14:00 小学校3,4年生
1月17日(火) 13:30～14:00 小学校5,6年生



伊藤俊 いとうしゅん
宮城県南三陸町で「震災を風化させないための語り部バス」のガイドや、講演なども含め、語り部活動は約10年間で2000回を超えた。災害の経験だけでなく、地域活性化や地域の課題についても情報発信に取り組み、「誰もが語り部」を目標に未来へ生かす言葉を贈り続けている。

社会人になる前に、 知っておきたいこと!

伝えるポイント!
・息子のいのちからの学び(企業・組織防災)
・いのちが一番、人生の歩み方
1月27日(金) 14:30～15:00 高校生
1月27日(金) 16:00～16:30 高校生



田村孝行 たむらたかゆき
東日本大震災の津波により、銀行という企業管理下で当時25歳の息子を亡くした。いのちの大切さや、安全な社会に向けてどうあるべきか、息子・健太より多くの事を学んだ。この学びを次世代へ繋げるために、いのちを守る防災講演(企業・組織防災)・いのちの学習の講演をし、命のバトンを渡す活動を続けている。

東日本大震災発生から 学校再開までの歩み

伝えるポイント!
・3.11にあったこと
・避難所運営と学校再開までの歩み
・震災の経験から思ったこと
1月25日(水) 11:00～11:30 中学生
3月7日(火) 13:30～14:30 中学生



三浦浩 みうらひろし
震災時は、石巻市東部の海から100m程のところにある渡波(わたのは)中学校の教頭だった。3月11日は午前中に卒業式があり、午後はほとんどの生徒が下校していたが、地域の避難所になっていたので住民が学校に避難してきた。地震発生から約50分後、海からの津波に襲われ、校舎2階まで浸水した。被災後、避難所の運営や学校再開に向けて奔走した。現在、語り部として活動している。

小学校 しくじり先生の被災体験 高校生 伝えるむずかしさ

小学校伝えるポイント!
・とにかく逃げる
・地域のこと災害のことを知っておく
高校生伝えるポイント!
・被災者になにを聞いて、どう報道するべきだろうか
・災害をどう伝えたいだろうか
2月24日(金) 11:00～12:00 小学校5,6年生
2月15日(水) 16:00～16:30 高校生



阿部任 あべじん
震災時は高校一年生。石巻市門脇町の実家で祖母と2人の時だった。裏山に避難せず2階にいたところ、家ごと津波に流され9日後に救出された。判断を誤り、多くの人に迷惑をかけてしまった後悔と、メディアでは奇跡の救出として報じられたことによる世間とのギャップに悩んだ経験を語る。

あなたの思う“大切”は なんですか。

伝えるポイント!
・小学生から見た3.11
・震災いじめ
・私のマイプロジェクト(探究学習)
2月8日(水) 11:00～11:30 小学校5,6年生
1月25日(水) 13:30～14:00 中学生



三浦七海 みうらななみ
名取市の関上地区出身。5年生のときに、被災し自宅が全壊流失。その後、内陸の中学校では「支援物資をもらってずい」など「震災いじめ」にあう。ある時、ボランティアをしていた高校生と出会ったことで、中学3年生から語り部を始める。高校生マイプロジェクトアワード2017では全国1位を受賞。語り部では経験談だけでなく、自然の楽しさや、自分の思う“大切”から、減災を考えるきっかけづくりなどを伝えている。

災害から命を守るために 知って欲しいこと

伝えるポイント!
・住んでいた石巻市大川小周辺の被災状況
・震災直後の息子の避難行動
2月2日(木) 11:00～11:30 小学校3,4年生
2月21日(火) 13:30～14:30 小学校3,4年生



高橋正子 たかはししょうこ
震災当時、海に近い自宅には高校生の息子と義理の母がいた。大津波警報が防災無線から聞こえるなか、家族とは連絡が取れず、道路は寸断され自宅に戻ることはできなかった。翌日、地区全体が津波に襲われ自宅も含め流出したことを知る。2016年より伝承活動に携わり、昨年からは地区の裏山に逃げた息子の様子を絵本「なべになった鐘」より紙芝居にして紹介している。

Q&A

- Q.いろいろな語り部さんのお話が聞きたいです。複数の日程で視聴してもよいですか。 A.視聴可能です。
- Q.対象の日程に参加できません。 A.例えば、小学校であっても中学校の日程に参加いただくことも可能です。対象別に言葉遣いを変えていますので、その点はご了承ください。
- Q.録画視聴はできますか。 A.語り部さんの意向により、録画配信は行っていません。(第三者にお話の一部が切り取られて引用されるのを防ぐためです)生配信での参加のみ受付となりますので、予めご了承ください。
- Q.ZOOMのアプリがないと視聴できませんか。 A.ブラウザからも視聴いただけますが、接続が不安定になる場合にはアプリでの視聴をおすすめします。
- Q.当日接続がうまくできないか不安です。 A.参加校にメールでお送りするURLに正しくアクセスいただく、○月▲日□:□～開催予定ですという表示が画面上に出ってきます。また、当日の配信30分前から入室可能としていますので、早めの接続確認が安心です。
- Q.参加中、自校だけ音声が聞こえませんか… A.インターネット通信の安定している環境での視聴、ZOOM上の音声に関する設定をご確認ください。開始前にアナウンスを行いますので、その声が届いているかご確認ください。
- Q.当日注意することはありますか。 A.子どもたちの様子が語り部さんに見えるように配信中はカメラをオンにしてください。また、雑音が入らないようマイクはミュートにしてください。

お申込みはMicrosoftFormsから受け付けます!(入力が出来ない場合にはお問合せください)

<https://forms.office.com/r/uT1cLayaVC>



多くの学校にご参加いただけるよう、
30分:各回につき先着90回線まで
60分:各回につき先着90回線まで
※目安:1クラスにつき1台のパソコン=1回線